

リーマン予想

-- 歴史と現代数学においてそれが意味するもの --

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に、気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です

1859年にベルリン学士院月報に掲載されたリーマンの論文には、それから150年経った現在も解決されていない予想が述べられています。このリーマン予想には、古代ギリシャ以来、何世代にも渡って研究されてきた素数の性質が関係しているのです。

今回のサイエンスカフェでは、ユークリッド、エラトステネス、オイラー、ガウスらの、数学の巨星たちが関わった素数にまつわる歴史と、リーマンが考えていたこと、そして現代数学に及ぼした影響についてご紹介します。

ゲスト： 砂田 利一 さん (明治大学理工学部)

日時： 2009年12月12日 (土) 14:00から16:00

場所： UCC カフェコンフォート 神戸市庁舎
(神戸市中央区加納町6-5-1, Tel:078-392-1185)
(<http://www.ucc.co.jp/cgi-bin/shop/shop.cgi?id=22>)

**アクセス： JR「三ノ宮」、阪急・阪神「三宮」から
徒歩7分**

参加費： 1000円
(ケーキセット代)

定員： 30名程度 (先着順です)
定員になり次第締めさせていただきます

**参加申し込み・お問い合わせ：
神戸大学サイエンスショップ**

メール：scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp

TEL・FAX：078(803)7979

*お申し込みの際お送りいただきます個人情報は、
本サイエンスカフェの運営管理の目的にのみ利用させていただきます

主催：サイエンスカフェ神戸

(<http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>)

神戸大学サイエンスショップ

(<http://www.h.kobe-u.ac.jp/scishop>)

